

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病態治療Ⅰ(呼吸器・循環器)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	202,203
担 当 教 員	内田 俊之	実務経験と その関連資格	1988年医師国家試験合格 1994年3月医学博士号取得 大阪市大附属病院勤務を経て2002年10月より医療法人俊英会内田医院院長管理医師として現在に至る。			
《科目目標》						
呼吸器・循環器疾患の検査・診断と症候・病態生理、治療を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカEX 疾患と看護①呼吸器(メディカ出版) ナーシンググラフィカEX 疾患と看護②循環器(メディカ出版)						
《授業外における学習方法》						
教科書の予習復習、関連参考書学習						
《履修に当たっての留意点》						
呼吸と循環のしくみで学んだ正常な呼吸器、循環器の構造と機能を基に、そこから逸脱した状態が起こるメカニズム、検査、治療について学ぶ。本科目での学習内容は各看護学で対象の状態を判断し看護を提供する根拠につながる。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器疾患の総論について理解を深める		教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	呼吸器疾患の総論、呼吸器系の自他覚症状			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	間質性肺疾患について理解を深める		教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	間質性肺疾患の分類および各疾患の概説			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器腫瘍について理解を深める		教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	呼吸器腫瘍の分類、診断、治療			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の呼吸器疾患について理解を深める		教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	肺動脈血栓塞栓症、胸膜疾患などの概説			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	気道疾患:主要疾患とその症状・検査 治療・合併症・予後が理解できる		教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	気管支拡張症・気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染性呼吸器疾患：主要疾患とその症状・検査 治療・合併症・予後が理解できる	教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。 毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	感染症・肺炎・結核・非結核性抗酸菌症		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸不全・呼吸調節に間する疾患：主要疾患とその症状・検査 治療・合併症・予後が理解できる	教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。 毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	呼吸不全の病態生理 急性呼吸窮迫症候群・肺性心過喚起症候群・睡眠時無呼吸症候群 肺分画症・肺動静脈瘻		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸膜・縦隔・横隔膜の疾患：主要疾患とその症状・検査 治療・合併症・予後が理解できる	教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。 毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	胸膜炎・膿胸・自然気胸・胸膜腫瘍 縦隔炎・縦隔気腫・縦隔腫瘍 横隔膜ヘルニア		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器の構造と機能、症状と病態生理について理解習得すること	教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。 毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	循環器1: 循環器の構造と機能、症状と病態生理		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器の主な検査について習得すること	教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。 毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	循環器2: 循環器の主な検査(心電図、心臓カテーテル検査、心エコー、血行動態モニタリング等)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患とその治療について理解習得すること	教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。 毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	循環器3: 虚血性心疾患(心筋梗塞と狭心症)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患とその治療について理解習得すること	教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。 毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	循環器4: 心不全		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患とその治療について理解習得すること	教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。 毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	循環器5: 不整脈		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患とその治療について理解習得すること	教科書	講義予定範囲箇所を事前に読み授業に臨む。 毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	循環器6: 弁膜症、心膜炎、心筋疾患、先天性心疾患etc		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験	教科書	
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		